

新型コロナウイルス感染症対策



1 幼稚園・小学校・中学校を一斉臨時休校

感染防止策として政府の要請を受け、市は3月2日から春休みまで、市内全幼稚園・小学校・中学校を臨時休校（園）としました。休校に伴う緊急対策として、小学校に緊急受入児童クラブを開設し、幼稚園では臨時預かり保育を実施。共働き家庭などの子どもの保育をサポートしました。

(写真) 総社東小学校の緊急受入児童クラブ。教職員が絵本の読み聞かせをするなどして過ごした

2 市が備蓄していたマスクを妊産婦に配布

3月5日から市役所玄関ロビーで、市内の妊産婦にマスクを配布しました。マスクは、市が防災用に備蓄していたもの。2月に市民や福祉・教育施設、医療機関などに届けた数と合わせて、約50万枚を配りました。

(写真) 市役所玄関ロビーのマスク配布窓口の様子

4 市民・企業向け 第2回の連絡会議を開催

感染拡大防止に向けて2月26日、市民・企業の対応方針を確認する2回目の連絡会議を総合福祉センターで開催しました。

会議には、地域づくり協議会や市内企業の代表者、医療関係者らが出席。新型コロナウイルス感染症患者の発生状況や対策が説明されました。

(写真) 会議で市長は、「今は総社市のピンチ。市民を徹底的に守ってきたい」と述べた

3 新型コロナウイルス感染症対策室が発足

3月5日、保健福祉部内に新型コロナウイルス感染症対策室を設置。市の感染症対策について各部の総合調整を行います。また、市民の総合相談窓口として24時間対応のコールセンターを開設しました。

(写真) 左から、対策室の看板掛けを行った市長と吉田室長

【お詫び】

2020 そうじゃ吉備路マラソンを始めとする各種イベントの中止・延期や学校の休校措置など、ご迷惑をお掛けしております。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

全国で新型コロナウイルスの感染が広がっており、市では感染拡大防止に取り組んでいます。市民の皆さまも予防対策をお願いいたします。

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎@ 8380)

※新型コロナウイルスに関する情報は、3月16日現在のものです。今後の状況により、変更になる可能性があります

新型コロナウイルス感染症とは

種類 ウイルス性の風邪の一種。重症化すると肺炎を引き起こす

症状 発熱、喉の痛み、長引く咳、^{けんたい}倦怠感など

潜伏期間 1～12.5日（多くは5～6日）

感染の仕方

- ①くしゃみや咳、唾などによる^{ひまつ}飛沫感染
- ②ウイルスに触れた手で口や鼻などを触ることによる感染

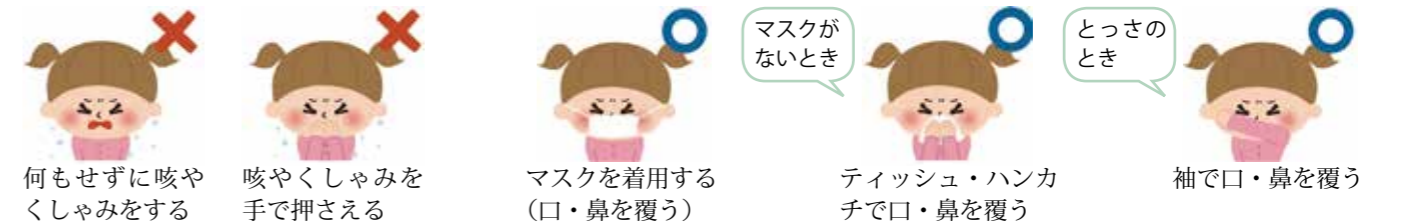
市民の皆さまへお願い

①手洗い・咳エチケットを徹底してください

正しい手の洗い方



咳エチケット



②発熱や風邪などの軽い症状が出た場合、学校や会社を休み自宅で療養してください

③閉鎖空間・近距離で多くの人と会話をするような環境へ行くことは避けてください

咳やくしゃみなどがなくても、感染を拡大させるリスクがあります

④次の症状がある場合は、帰国者・接触者相談センターに相談してください

- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く(解熱剤を飲み続けなければならないときを含む)
 - ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある
- ※高齢者や妊婦、糖尿病・心不全・呼吸器疾患・透析・抗がん剤投薬者などの基礎疾患がある人は、上記の状態が2日以上続く場合

備中県民局 帰国者・接触者相談センター	
月～金曜日、9:00～17:00	☎ 086-434-7072
上記以外の時間	☎ 086-434-7024